

令和 6 年度下田地域ケアプラザ P D C A シート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

・包括担当エリアの高齢化率・高齢者独居世帯割合は区内でも高い。

・高齢者の中での要支援、要介護認定率が高く、制度利用の理解や意向が高い事がうかがえる。

・但し、認定者のうちの約 9 割近くの方が何らかの在宅サービスを利用しており、要支援認定者が要介護に悪化する傾向は少なく、比較的体調を維持されているエリアでもある。

・要支援認定者であっても地域のイベントやケアプラザ事業に参加されている方も多く、上記の裏付けとも読み取れる。

・山坂等起伏の大きい地形からお住まいの場所によっては集える場所への行きにくさはあり、身近なところで集まれる場所等を開拓していく必要があると認識している。

・また、認知症に関する相談は依然と大きく、地域の認知症への理解や認知症でも通える場所づくり活動を継続する方針である。

・地域の自治会や民児協等への支援については、引き続き、各職員が積極的に活動などに関わりながら支援していく。

・地域団体も役員の改選やエリア内の民児協の分割等があり、これまでとは違った地域の動きや活動が検討されていることから、引き続き地域の意向を確認しながら新たな取組み等を支援していく。

新規継続

— 具体的な取組内容 —

☐ 【認知症支援事業】

- ・認知症に関する啓発活動の継続（認知症サポーター養成講座等）
- ・小中学校と協働した啓発活動により、その親に対しても認識を深めてもらう。
- ・貸館団体への個別啓発活動
- ☒ ・認知症であっても気軽に参加できる場づくり（下田メモリーカフェ等）
- ・認知症初期集中支援チームとの連携。
- ・適切なサービスへの結びつけ、民生等への情報提供（家族らの同意を得て）。
- ・エンディングノートの啓発と実践。
- ・任意後見制度等の啓発。

☐ 【介護予防ケアマネジメント】

- ・「きょういくきょうようプロジェクト」の浸透
- ・ラジオ体操等、定期的に参加できる場の継続および開拓。
- ☒ ・体力測定会等、自身を振返る場の定期開催。
- ・区域でのケアマネ向け研修の実施。
- ・地域情報の提供。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・認知症支援として11月より認知症カフェである「下田メモリーカフェ」を月に2回開催に増回することで受け皿機能を強化できた。

・プラザ貸館利用者の高齢化に伴う、先々のリスクに対して各サークル参加者同士の交流や知識の伝達としての講座を実施できた。

・エンディングノート及び、後見制度や消費者被害に関する地域向け講座を実施することで未然に問題を回避できる術を伝える機会を設けることができたが、反面、認知症重度者や緊急を要する方々が速やかに制度利用を実施する事は難しく、今後関係機関と検討を重ねる必要がある。

・SHIMODAきょういくきょうようプロジェクトとして、フレイル予防、外出の必要性を発信し、参加してみたいと思ってもらえる企画実施を試みた。

・8月には公式Instagramを立ち上げ、若い世代にもアクセスしやすい環境を整えてきている。

・コロナ禍を経て、地域活動再開が本格的になる中、地域の関係機関の要請に応じ様々な情報提供や支援を行えた。

・子育て世代の食支援活動については継続的に実施でいるよう支援および情報提供を行えている。

・国際交流ラウンジやまちの先生など、これまで協働実績がなかった組織等と連携し、あらたな企画につなげることができた。

・ラジオ体操を毎週2か所で行った。交流や見守りなど住民同士の関係構築に繋がっている。

☐ 区からのコメント

山坂等起伏の大きい地形から地域ケアプラザへ足を運びにくい地域住民もいるかと思いますが、細やかで幅広く、手厚い個別支援を行っており、地区の課題に対しても様々な講座を開催できています。引き続き、情報発信も工夫して継続していただきながら地域や関係機関との連携、協働につながる取り組みをお願いいたします。

認知症支援事業の取組については、チームオレンジとしての取組も全市的に開始されますので、認知症カフェ等既にある社会資源を活かしながら地域の認知症への理解が促進されることを期待します。

令和6年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。 ・日々得られる情報について、施設独自の広報紙やホームページ、さらには独自に行っているSNS(ツイッター)等、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。 ・施設利用に関して、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるように、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。	・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他、細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。 ・横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内事業所の事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。 ・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っています。
実績	・法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用した内部研修を実施。 ・法人の人権委員会(虐待防止委員会)主催の研修を全職員参加。今年度は虐待防止研修として、「親しみと馴れ馴れしさ」をテーマに職員が利用者および同僚とのコミュニケーション、言葉遣い等を振り返る場としました。 ・随時部門会議や事例検討(ケースに関する情報交換を含む)の場を通じて、職員同士、自らの姿勢や取り組みの振り返りの機会とする。 ・法人・施設広報紙やホームページ、運営協議会等において、地域の方々に向けた情報提供に努めました。 ・SNS(X:旧ツイッター)を有効活用し、随時タイムリーな情報発信を心掛けました。年度の途中より、Instagramも開設し、より多くのチャンネルからの情報発信に努めました。 ・毎月実施している貸館予約会の場で、貸館事業のルール変更内容等に対して、各団体に向けて一律に周知と説明を丁寧に行いました。	・日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で対策検討等をしながら事故の再発防止に努めました。 ・個人情報漏洩防止のため、業務手順・体制を定めながら、日々の業務を実践しています。 ・郵送やFAX送信時の際は、手順等を各職員が確認し合いながら行い、誤発送、誤送信の防止に努めました。 ・全職員を対象に個人情報漏洩防止研修を実施し、意識啓発に努めました。 ・個人情報漏えい事故 令和6年度1件報告(利用者の利用者への誤配付)

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛け作りを考え地域力を高めていきます。	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。
職員体制	主任介護支援専門員:0人(欠員) 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 2人(常勤専従2人)
契約者数	235名	77名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】週7日 【提供時間】9:15～16:20 【定員】40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	生活相談員兼介護職員:3人 看護職員:5人 介護職員:16人 運転手:9人		
契約者数等	【延べ利用者数】6827人 【契約者数】64人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部						(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,449,402	470,409	19,919,811	19,139,811	780,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	223,480	△ 123,480	
雑入	10,000	0	10,000	9,858	142	
印刷代			0	4,120	△ 4,120	コピー代
自動販売機手数料	10,000		10,000	5,038	4,962	
その他			0	700	△ 700	公衆電話使用料
その他	3,788,706		3,788,706	3,859,062	△ 70,356	施設使用料相当控除額
収入合計	23,348,108	470,409	23,818,517	23,232,211	586,306	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,255,508	0	13,255,508	10,640,771	2,614,737	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
本俸	11,523,508		11,523,508	9,265,780	2,257,728	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
社会保険料	1,400,000		1,400,000	1,078,322	321,678	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
手当計			0		0	
健康診断費	20,000		20,000	28,386	△ 8,386	
勤労者福祉共済掛金	12,000		12,000	9,750	2,250	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	90,532	9,468	
その他	200,000		200,000	168,001	31,999	
事務費	1,550,000	0	1,550,000	1,134,208	415,792	
旅費	25,000		25,000	17,380	7,620	
消耗品費	400,000		400,000	204,118	195,882	
会議開い費	15,000		15,000	13,712	1,288	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	300,000		300,000	171,829	128,171	
使用料及び賃借料	550,000	0	550,000	171,426	378,574	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	
その他	550,000		550,000	150,306	399,694	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	35,063	14,937	
職員等研修費	20,000		20,000	16,229	3,771	
振込手数料	20,000		20,000	12,767	7,233	
リース料			0		0	
手数料			0	2,402	△ 2,402	
地域協力費	3,600		3,600	3,600	0	
その他	166,400		166,400	485,682	△ 319,282	
事業費	480,000	0	480,000	510,558	△ 30,558	
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	480,000		480,000	510,558	△ 30,558	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	39,600	0	39,600	39,600	0	
太陽光パネル保守点検	39,600		39,600	39,600	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	7,439,000	0	7,439,000	8,876,351	△ 1,437,351	
光熱水費	4,000,000		4,000,000	4,537,639	△ 537,639	
清掃費	2,500,000		2,500,000	3,139,734	△ 639,734	
機械設備費	120,000		120,000	116,794	3,206	
設備保全費	819,000	0	819,000	735,495	83,505	
空調衛生設備保守	270,000		270,000	289,942	△ 19,942	
消防設備保守	80,000		80,000	80,199	△ 199	
電気設備保守	70,000		70,000	84,560	△ 14,560	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	30,659	△ 659	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	369,000		369,000	250,135	118,865	
共益費			0		0	
その他			0	346,689	△ 346,689	
修繕費	474,000		474,000	893,732	△ 419,732	予算：指定額
公租公課	1,150,000	0	1,150,000	1,136,991	13,009	
事業所税			0		0	
消費税	1,150,000		1,150,000	1,136,991	13,009	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	24,388,108	0	24,388,108	23,232,211	1,155,897	
差引	△ 1,040,000	470,409	△ 569,591	0	△ 569,591	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	223,480	△ 123,480	
自主事業費 支出	480,000	0	480,000	510,558	△ 30,558	
自主事業 収支	△ 380,000	0	△ 380,000	△ 287,078	△ 92,922	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	10,000	0	10,000	5,038	4,962	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	10,000	0	10,000	△ 16,082	26,082	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「横浜山下田地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,120,021		25,120,021	24,305,083	814,938	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,947,099		5,947,099	5,947,099	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	10,500	△ 10,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	7,500	△ 7,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	31,221,120	0	31,221,120	30,424,182	796,938	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,434,120	0	26,434,120	23,558,685	2,875,435	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
本俸	23,090,120		23,090,120	19,708,785	3,381,335	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
社会保険料	2,800,000		2,800,000	3,225,509	△ 425,509	本部 会計・労務兼務職員人件費を含む
手当計			0		0	
健康診断費	20,000		20,000	21,586	△ 1,586	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	25,750	△ 1,750	
退職給付引当金繰入額	250,000		250,000	286,431	△ 36,431	
その他	250,000		250,000	290,624	△ 40,624	
事務費	1,420,000	0	1,420,000	795,698	624,302	
旅費	50,000		50,000	33,938	16,062	
消耗品費	350,000		350,000	71,171	278,829	
会議贈い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	350,000		350,000	224,184	125,816	
使用料及び賃借料		0	0	47,525	△ 47,525	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0	47,525	△ 47,525	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	35,063	14,937	
職員等研修費	40,000		40,000	23,019	16,981	
振込手数料	20,000		20,000	9,435	10,565	
リース料	430,000		430,000		430,000	
手数料			0	2,090	△ 2,090	
地域協力費			0		0	
その他	130,000		130,000	349,273	△ 219,273	
事業費	1,119,000	0	1,119,000	256,727	862,273	
協力医	630,000		630,000	63,000	567,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000	10,325	244,675	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	161,676	△ 7,676	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000	21,726	58,274	
その他			0		0	
管理費	2,122,000	0	2,122,000	2,359,521	△ 237,521	
光熱水費	1,000,000		1,000,000	1,206,207	△ 206,207	
清掃費	800,000		800,000	834,610	△ 34,610	
機械整備費	35,000		35,000	31,046	3,954	
設備保全費	287,000	0	287,000	195,504	91,496	
空調衛生設備保守	70,000		70,000	77,071	△ 7,071	
消防設備保守	20,000		20,000	21,318	△ 1,318	
電気設備保守	20,000		20,000	22,477	△ 2,477	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,149	1,851	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	167,000		167,000	66,489	100,511	
共益費			0		0	
その他			0	92,154	△ 92,154	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
公租公課	0	0	0	10,133	△ 10,133	
事業所税			0		0	
消費税			0	10,133	△ 10,133	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	31,221,120	0	31,221,120	27,106,764	4,114,356	
差引	0	0	0	3,317,418	△ 3,317,418	

自主事業費 収入	0	0	0	18,000	△ 18,000	
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	193,727	295,273	
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	△ 175,727	△ 313,273	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 下田地域ケアプラザ

6年4月1日～ 7年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,300	7,254	46	5,800	6,189	-389	11,500	12,425	-925	69,200	65,688	3,512	1,100	701	399
	その他	0	20	-20	0	0	0	0	35	-35	18,740	16,568	2,172	350	181	169
	通所利用者負担金収入			0			0			0	11,550	9,339	2,211	150	71	79
	通所利用者食事代収入			0			0			0	5,700	4,827	873	200	110	90
	利用者他食事代収入			0			0			0	1,300	1,247	53			0
	補助金		20	-20			0		20	-20		226	-226			0
	認定調査			0			0		15	-15			0			0
	雑収入 その他			0			0			0	190	929	-739			0
	収入合計(A)	7,300	7,274	26	5,800	6,189	-389	11,500	12,460	-960	87,940	82,256	5,684	1,450	882	568
支出	人件費	5,230	4,877	353			0	10,102	10,995	-893	65,068	65,520	-452			0
	事務費	270	240	30			0	645	1,276	-631	3,092	3,038	54			0
	事業費			0			0	100	46	54	6,151	6,879	-728			0
	管理費			0			0	200	63	137	14,799	13,970	829			0
	その他	2,800	2,627	173	1,800	1,360	440	0		0	5,589	5,543	46	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,800	2,627	173	1,800	1,360	440			0			0			0
	利用者他給食費			0			0			0	1,800	1,586	214			0
	施設使用料負担金			0			0			0	3,789	3,859	-70			0
	減価償却費			0			0			0		98	-98			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	8,300	7,744	556	1,800	1,360	440	11,047	12,380	-1,333	94,699	94,950	-251	0	0	0
収支 (A)－(B)		-1,000	-470	-530	4,000	4,829	-829	453	80	373	-6,759	-12,694	5,935	1,450	882	568

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）		ねらいとした事業		7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか、地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園を会場に実施。	5：地域		ラジオ体操の実施	44	1390
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちをお互な対象とし、子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会の場を提供する。	3：養育者及び乳幼児		子育てサロン（情報交換のつどい）	24	279
3	喫茶マロニエ亭	平成13年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つ為の外出先の確保と身近な健康チェックを提供する。	1：高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス	21	282
4	おはなしもだ	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	心の病を抱え外出先や悩みの吐き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン。	2：障害児・者		精神講座「こころの病について」	6	29
5	御食事処すずらん	平成15年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の独居高齢者等を主な対象に社会性を保つ為の為の外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。※令和2年度はケアプラザ主催	1：高齢者		独居高齢者食事会	11	128
6	下田メモリーカフェ	平成29年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場、支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	5：地域		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ	13	150
7	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではない事を周知するとともに、学校の長期休暇を利用し、児童生徒が参加できる交流の場を提供。	4：子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習	1	14
8	下田式事例検討会	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネジャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施	6：事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例をもとに「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で、事例検討会を実施。8月を除く偶数月の第4週木曜に実施	2	17
9	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働で、スキルアップのための勉強会を実施	6：事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め、勉強会を実施。今年度は講師招き、アローチャートを行った。	1	10
10	大人の美文字講座	令和6年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ボールペン字の習熟を通し参加者同士の交流を深める	5：地域		ボールペン字	6	69
11	親子de芋ほり体験会	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就園児とその保護者を対象に外出先を提供。6月にジャガイモ・10月にサツマイモの収穫を計画	4：子ども・青少年		お芋ほり	1	49
12	おやこで楽しく味噌玉作り体験	令和6年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏休みや冬休みなど長期に学校が休みの時に一人で調理できる味噌玉を作れるようにする。講座を通し家族間の交流を深める	4：子ども・青少年		味噌玉づくり	1	19
13	行政書士相談会	平成21年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	行政書士による無料巡回相談会。成年後見や遺言相続についての相談対応。	5：地域		成年後見相談会	1	3
14	成年後見セミナー	令和4年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域住民に対して成年後見制度に関する普及啓発	5：地域		成年後見の講演会	1	18

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	ババの体験赤ちゃん会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日吉地区およびその周辺に住む第1子の0歳児を持つババを対象に参加者同士の交流やミニシアターなど。ババのネットワークが作れるきっかけを提供する。	3:養育者及び乳幼児		ババ同士の交流会	5	39
16	「親子カレー作り」イベント	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	個別支援級の親子を対象にハンディのある子どもとその保護者がそれぞれ交流を図り、お互いに相談できるような関係づくりの場を提供する。	2:障害児・者		カレー作り	1	23
17	椅子に座って健康ヨガ	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	筋力の低下を防ぐ目的で、高齢の方でもイスに座ってできるヨガを紹介する。	5:地域		イスに座ってできるヨガ	2	40
18	できていますか？オーラルフレイル予防	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	口腔機能を維持するためトレーニング方法や嚥下機能の仕組みについて講義。	5:地域		フレイル予防	0	0
19	心のバリアフリープロジェクト	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	港北区内の法人4館による障がい理解への普及を目的に各館ごとに企画。下田ケアプラザでは港北区生活支援センターによる障がいについての講義とリンデン・カフェ社の代表による施設の概要と利用者の体験談を発表	5:地域		心の病についての普及啓発	1	34
20	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2024」	平成14年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体及びデイサービス利用者の作品展示。近隣の障がい施設よりお菓子や雑貨の販売も実施。	5:地域		貸館利用者・デイサービス利用者の作品展示	1	230
21	親子リトミック体験会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽を通じて体を動かすことで、子どもの力を育む。 音を楽しみながら、表現力・創造力・集中力を養い親子同士の交流をはかる。	4:子ども・青少年		リトミック体験	5	115
22	フレイル予防	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイルについての説明と予防のための体操を行う	1:高齢者		フレイル予防	1	27
23	終活講座「家族信託」「老後の住まい」「エンディングノートの書き方」	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自身の老後や介護が必要になったときに備え、施設の紹介や家族信託についての講義。成年後見制度との違いなど連続講座で学ぶ	5:地域		高齢者施設の紹介や「家族信託」「エンディングノートの書き方」についての講義	1	24
24	ボランティア活動を始めてみたい方向け講座「知る活からやる活へ」	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動を始めてみたい方向けに港北区内の9館の生活支援Cooが中心となって講座を開催	5:地域		ボランティア活動の紹介	1	24
25	今日から実践！腸活講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	「第2の脳」と言われる臓器である腸。 腸活の実践で病気の予防や改善につながる講座を通して排便習慣のコツを学ぶ	5:地域		腸活についての講義	3	67
26	フレイル・ロコモ予防教室	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	日常生活の中で体を動かし自宅でもできる運動や、シニア世代に必要な栄養・口腔ケアの方法などが、継続して行えるよう具体的な実践方法を身につける	1:高齢者		講義と体操	1	14
27	サークル団体のためのいきいき脳トレ体操	令和6年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	体操を通し各サークル参加者同士が集い、情報交換や情報の共有	1:高齢者		体操と交流	3	42
28	ボランティアさんのための体操教室	令和6年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	体操を通して各ボランティア同士が集い、情報交換や情報の共有をする	1:高齢者		体操と交流	1	15
29	親子de自由研究 チヂミづくりと韓国のお話し」	令和6年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	小学生の夏休み自由研究の切り口から参加親子がケアプラザおよび国際交流ラウンジを知る機会とする。	4:子ども・青少年		チヂミ作りと韓国文化の紹介	18	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	シルバーリトミック		7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	大人版リトミックとして歌・脳トレなどを用いながら転倒予防、誤嚥予防する事を目的として開催	1:高齢者		転倒予防・誤嚥予防のために歌・筋肉運動・脳トレなどの健康音楽を楽しむ	2	28
31	40代から始める歩き方講座	令和6年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	働く世代や男性にも意識付けとして、いつまでも健康でいられるよう歩き方を学び今後の担い手発掘やフレイル予防に繋がることを目的として開催	5:地域		毎日の生活がエクササイズになる歩き方を身につくよう講師から歩き方のポイントを学ぶ	3	43
32	悪徳商法・詐欺から身を守る	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で悪徳商法被害が続いており注意喚起をし、他人事ではなく自分事とらえ地域住民で声かけ合いながら安心した街づくりにつながることを目的として開催	5:地域		悪徳商法・詐欺から身を守る	1	13
33	成年後見制度	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	判断能力の低下や急変時、大事な決断が迫られることが多い為、平時から我が事として意思決定できる手段を学び、最後まで自分らしい生き方ができるようにする。	1:高齢者		成年後見制度 法廷貢献と任意後見の違い	1	18
34	最近のお葬式・お墓事情	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	急な病気などでご逝去された時、精神的に不安な中、早急に対応するな対応をしなければならぬ事態が起こる。いざという時の為に負担を最小限にする為に、また自分らしい生き方を考えるきっかけにする。	1:高齢者		お葬式・お墓事情	1	20
35	エンディングノート書き方講座	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	元気なうちに今後の人生の過ごし方・どう生きたいかを見つめるきっかけ作りとする。	5:地域		エンディングノート	1	16
36	ふらっと下田	令和6年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	気軽にできるボランティアの場を設けることを目的として開催	5:地域		誰でもできるような手作業をお願いし、ボランティア活動として作業をしてもらう	12	49